

研究課題 (テーマ)	富山県と県内企業をより深く知る機会の創出による県内定着率向上 (見て、触れて、話す機会の創出による興味関心向上)		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	中川慎二
	機械システム工学科	准教授	宮島敏郎
	機械システム工学科	准教授	寺島修
研究結果の概要			
<p>○ 背景と目的</p> <p>富山県立大学を卒業した後、富山県内企業に就職し、富山で暮らしていく学生さんの数を増やすことを目的に、以下の施策を行いました。</p> <p>○ 施策</p> <p>就職活動が始まる前の学生さんを対象に、県内企業のことや、県内に住むメリットを知ってもらう機会を複数回設けました。</p> <p>(1) 富山県ものづくり総合見本市 2021(T-Messe2021)への参加 (対象：学科3年生全員)</p> <p>(2) 富山県内企業の方による講演 (対象：学科2年生 55名、学科1年生全員)</p> <p style="padding-left: 40px;">(1)と(2)の狙い：富山県内企業への興味関心を低学年時から向上</p> <p>(3) 富山県内自治体の方による富山県に住むメリットの紹介 (対象：学科2年生 55名)</p> <p style="padding-left: 40px;">(3)の狙い：富山県での暮らしへの興味関心を向上</p> <p>(1)は県内にある企業を一社でも多く知ってもらい、興味関心を抱く学生を増やすことを目的に行いました。</p> <p>(2)は現在学んでいる内容が、県内企業で普段どのように活用されているかを、具体的な製品を通じて理解してもらい、県内企業への親しみを深めることを目的に行いました。</p> <p>(3)は富山に住むメリット、魅力を他県との比較から理解してもらうことで、他県ではなく富山に住みたいと思う学生さんを増やすことを目的に行いました。</p> <p>○ 結果</p> <p>(1)ではこれまで知らなかった県内企業について知ることができ、県内企業に対する興味関心が高まった学生さんが多くみられました。また、(2)では実際にその企業で働きたいと思う学生さんが増えるなどしました。さらに、(3)では「雪が多くて不便」という印象しか持っていなかった学生さんが、「意外といい県なんだ」という印象に変わるなど、富山に対する印象が変わった学生さんが多くみられました。</p>			
今後の展開			
<p>今年度の取り組みにより、所定の成果が得られたため、県内に就職する学生さんの増加が期待できます。今後も継続的にこのような取り組みを行い、県内に残り、定着する学生さんの増加につなげます。なお、県外出身学生は、富山県内企業や富山県に住むことへの興味関心が低い傾向にありました。このため、これを効果的に改善する方法を引き続き検討し、一人でも多くの学生さんが富山に残るための取り組みを行ってまいります。</p>			



県内ロボットメーカーの方による講演



県内自治体の方による魅力紹介